

人はなぜ苦労するのか

恨霊の救いは清平の役事で行います。先祖解怨以外でも体を叩きますが、清平でやらなければならない事が、その役事と情心苑での祈禱になります。解怨は出来なくても役事はできるのです。とにかく清平に行って役事をたくさんすることです。8家系210代が終わっていても、清平に行って役事が必要なのは恨霊がいっぱいいるからなのです。整理が出来ていないため、210代が終わった人ほど頑張らなければならないのです。恨霊の整理が出来れば、スムーズにいくのです。

アボジに尋ねたことがあります。協助しているのは、神様なのですか、それとも先祖なのですかと…。大きなことに関しては神様が働くそうです。個人の事に関して直接働くのは、先祖であるとの事でした。アボジの回答から言えるのは、統一食口は先祖をもっと大事にしなければならないという結論に達するのです。先祖を大事にすれば商売繁盛するし家族仲もよくなるのです。神様は宗教統一、南北統一に関わってくるという事です。先祖を大切にすることは原理講論には書かれていません。クリスチャン用に書かれているため書かれていませんが、天聖經には書かれています。

アボジが信仰の世界で残した偉大なものがあります。①神様との父子の関係②責任分担と蕩滅③蕩滅の法則とカインアベル問題です。世界的なエサウとヤコブの屈服の話が、金日成とアボジになるのです。金日成をお兄さんと呼ぶことによってアボジは受け入れられました。北朝鮮が生んだ偉大な人物として金日成と文鮮明でありますので、マスメディアにも二人の文字が出るのです。今も侍っているのです。

伝道とはカインを探しに行くことです。伝道する時、私が良いカインであれば、対象者から見れば良いアベルになるのです。お母様がスイスで祈ったのは直系のアベルとカインの私たちを一つにされるためであったのです。教会もカインアベル二つに分かれるのです。それが一つになってお母様のところに行きお父様のところに行き帰るのが摂理なのです。アベルも神様の子供、カインも神様の子供、その子供が二人そろって帰ってくるのが神様の願いなのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお願い致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 聖和 2 周年特別精誠期間
TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。
1次:天曆2月3日(陽曆3月3日)~天曆4月2日(陽曆4月30日)
2次:天曆4月3日(陽曆5月1日)~天曆6月4日(陽曆6月30日)
3次:天曆6月5日(陽曆7月1日)~天曆7月16日(陽曆8月11日)
3. 真のお父様聖和二周年 93 日伝道路程
◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読
◆目標:一家庭祝福伝道
◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽曆)
4. しあわせセミナー
日時:7月23日(水)10:30~
場所:浦和教会
5. 健康講演会
日時:7月24日(木)10:30~
場所:浦和教会
6. 親子原理2DAYセミナー
期間:7月26日(土)~27日(日)
場所:岩槻ワッツコミセン
7. 第 24 回七・一節および第 18 回七・八節行事案内
日時:天一国 2 年天曆7月1日(陽 7.27)日曜日
場所:浦和教会
8. 第 6回天一国フェスティバル
日時:8月3日(日)12:30開場、13:20開会
場所:埼玉会館
9. 千葉中央修練所・8月の短期修練会
『原理の要点・祝福の意義と価値』特別 3 日修
『原理の要点・現代の摂理』特別 3 日修
日時・・・8/12 20:00 集合(夕食済ませて)~ 8/15 16:00 解散
10. 真のお父様聖和2周年訪韓
日時:8月11日~13日
11. VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会
第15回:2014年 9月18日(木)~ 9月23日(火)
第16回:2014年 10月25日(土)~ 10月30日(木)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 29番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	白石晴美
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	苦勞と相続	
※讃 頌 聖歌 20番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

祖国と故郷を訪ねて定着できる基地が、家庭です。その家庭で、どのようにして暮らさなければならないのでしょうか。父に出会って、涙とともに酔いしれて暮らさなければなりません。皆さんの国、皆さんの家庭のためです。私の家庭を取り戻し、涙の伝統、血の伝統、汗の伝統、鼻水の伝統、四肢五体の伝統を新たにつかみ、皆さんの二世、三世、千々万代の血族が、変わらない純潔、純血、純愛、純性を残さなければなりません。上下、前後、左右がきれいであればなりません。そうであってこそ、きれいな血統の純血、純愛になるのです。真の愛、真の生命、真の血統の純愛を中心として、純性の門を

通って純種を植えなければなりません。よりみ旨のために苦勞しなければなりません。そのようにすれば、すべての人々が、そのあとに従っていきます。誰が教会のために犠牲になり、誰が教会のために自分の一家を犠牲にし、誰がより苦勞し、より心情的伝統に近いかが大切なことです。末端にいる人が、み旨のために、夜も昼も祈って、血と汗を流しながら愛の精神を具現しようとすれば、その人が女性であろうと男性であろうと、天は、その人を通して新しい歴史を連結していくのです。統一教会は、既にそのような伝統が立っています。先生の息子、娘の中で、誰が先生の後継者になるのかという問題も、誰がみ旨に対してより多く犠牲になり、誰が孝行の道理を尽くすかにかかっています。すべて同じです。家庭でもそうであり、教会でもそうであり、すべてそのような伝統に従っていかねばなりません。

～天聖經 第二篇 真の父母 第3節 真の父母の勝利圏相続～

統一運動

北海道で「天運相続還元祈願聖火式」を開催

天暦6月17日(陽暦7月13日)、北海道の帯広にある聖火の郷において、第1地区「天運相続還元祈願聖火式」が盛大に挙行され、会場には開催地となった北海道をはじめ、東北各県や日本各地から約3300人が参加しました。

当日は早朝から肌寒く、深い霧に包まれる中、午前10時半から第一部が始まり、韓国・宇宙清平修鍊苑の文福局長が主導する中、“賛美役事”が行われました。

第二部が始まる頃には、時折、空から薄日が差す天候となり、司会の開会宣言と共に、大母様、宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長夫妻が大きな拍手を受け入場。主催者を代表して、矢吹恭一第1地区区長が歓迎の挨拶を行いました。宋龍天総会長が祝辞を述べた後、大母様が“聖火式”の意義と価値について語られ、最後に「食口(教会員)の皆さん、今から私たちは2020年まで1日3時間づつ、食口の皆さんが全ての方々に、天運を与えることができる活動を一生懸命にされるようにお願いします」と呼び掛けました。

